

平成 28 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 穂波学園

福祉型障害児入所施設 穂波学園

## 福祉型障害児入所施設 穂波学園

平成 28 年度

### 〔事業内容〕

就学前から 18 歳までの方が対象の施設です。利用者様の一人ひとりの特性に応じた個別支援、また集団生活の中で協調性を養い、将来独立自活に必要な知識・技能が身につく様に支援し、ご利用者様が明るく家庭的な雰囲気の中で、健康で幸せな生活が遅れる事を目的としました。未就学児は同法人内のまどか園にて、地域から通園されている幼児さんとの交流活動を行いました。小中学生は公立校の特別支援学級や特別支援学校に通学しながら、学校と当園の両面で学習しました。中学校卒業後は、希望により特別支援学校高等部で学習、または学園内で行っている日中活動等を通し、自立に向けた生活支援・作業支援・社会適応支援の中で知識を身に付けるようにしました。

### 〔在籍者数〕

	H28.4	H29.3
措置者数	59	58
契約者数	7	6
合計	66	64

※単位（人）

### 〔年齢別〕

年齢	3～5 歳	6～11 歳	12～15 歳	16～18 歳	平均
男子	6	12	18	10	11.7
女子	0	7	6	7	12.0
合計	6	19	24	17	12.0

※単位（人）

### 〔程度別〕

程度	最重度	重度	中度	軽度	合計
男子	1	5	3	37	46
女子	2	1	2	15	20
計	3	6	5	52	66

※単位（人）

## 〔在園年数〕

年数	1年未満	1～4年	5～9年	10～15年	平均
男子	6	23	13	4	4.0
女子	1	14	2	3	3.8
計	7	37	15	7	4.0

※単位（人）

## 〔通学状況〕

学校別	小学校						中学校			高等部			合計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
幸袋				2	1	1	1	1	2				8
嘉穂特別支援学校	2	4	3	1	1	4	3	4	3				25
直方特別支援学校										5	11	3	19
合計	2	4	3	3	2	5	4	5	5	5	11	3	52

※単位（人）

幸袋小学校	4名
幸袋中学校	4名
嘉穂特別支援学校	25名
直方特別支援学校	19名

## 〔地区別〕

相談所	田川	福岡	宗像	久留米	大牟田	福岡市	北九州市	県外	合計
男子	20	4	4	4	0	8	5	1	46
女子	2	5	6	2	1	3	1	0	20
合計	22	9	10	6	1	11	6	1	66

※単位（人）

## 〔月別利用者数と入退所の状況〕

## ◎月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
措置	男子	41	41	44	44	44	44	43	43	43	43	43	44
	女子	18	18	19	19	19	18	17	17	18	18	18	18
契約	男子	5	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	女子	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3
合計		66	67	71	70	70	69	67	67	69	69	69	70

※単位（人）

◎退所の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男子			1			1						6	8
進路先			自宅			自宅						自宅:3 入所:2 GH:1	
女子					1	1							2
進路先					入所	自宅							
合計			1		1	2						6	10

※単位 (人)

◎入所の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男子	2	3										1	6
学年	小1	小6 中3 16歳										3歳	
女子	1	1						2					4
学年	16歳	小3						年長 中1					
合計	3	4						2				1	10

※単位 (人)

[短期入所延べ人数]

H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	4	4	6	6	4	4	4	4	4	6	2	10

※単位 (人)

[日中一時支援事業延べ人数]

H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	36	35	28	36	60	40	35	42	37	38	24	55

※単位 (人)

〔職員の配置状況〕

職種	現員	配置基準
嘱託医	2	2
児童指導員	5	19
保育士	14	
栄養士	2	1
調理員	4	4
児童発達支援管理者	1	1
他の職員(医師・心理指導担当 職員・職業指導員)	2	2
計	30	29

〔実習受け入れ〕

各々の大学・短大・専門学校の8校より45名の学生が実習に入られました。又、福岡県介護等体験に2校より2名の学生・田川児童相談所に実習に入っている学生の施設体験に5名の学生が来られました。

〔行事〕

- 4月 春休みお楽しみ外出(ファンシーキッズリゾート筑紫野)・誕生会
- 5月 プロ野球観戦(ヤフオクドーム)・誕生会
- 7月 プール外出・誕生会・学園祭(夏祭り)保護者参加・映画・買い物外出
- 8月 飯塚納涼花火大会・誕生会(バイキング)・プール外出  
夏休み園内キャンプ・バーベキュー・夜店
- 9月 田川児童相談所管内ふれ愛レクリエーション(管内他施設との交流～幼児・小学低学年)・誕生会(手作り食事会)
- 10月 体育大会 保護者参加・誕生会  
田川児童相談所管内ボウリング大会(管内他施設との交流～中学生以上)
- 11月 お楽しみ外出(到津の森公園)・誕生会
- 12月 マラソン記録会・餅つき大会・買い物外出・誕生会・学園コンパ(クリスマス会)
- 1月 初詣・買い物外出・誕生会
- 2月 田川児童相談所管内ボウリング大会(管内他施設との交流～小学生)
- 3月 お楽しみ外出(ラウンドワンスタジアム・イオンモール)・誕生会(バイキング)  
プロ野球観戦(ヤフオクドーム)・花見遠足 保護者参加

## 〔余暇活動〕

毎月の利用者会議の中で余暇の過ごし方を全員に尋ね、翌月の余暇活動に取り入れました。

### （ゴールデンウィーク）

花壇や畑の手入れをし、花苗やトウモロコシ・トマトなど植え付け、夏に収穫しています。  
柏餅・おにぎり・カレー・スイーツ作りでミニクッキングをしておいしく食べたり、鯉のぼり作りをしたり、河川敷の鯉のぼり見学にドライブをしたりしました。

### （お盆休暇）

かき氷やスイーツ作り・水風船や水鉄砲での水遊びや大スクリーンでの映写会を楽しみました。また、残暑見舞いを書いたりカラオケをしました。

### （お正月休暇）

すごろくや福笑い・門松作りなどのお正月準備をしたり、お正月には初詣やお正月遊びを色々楽しみました。書初めや餃子パーティーなどもしました。

毎週の連休には運動や遊び・調理・製作などと合わせて公文学習や SST（ソーシャルスキルトレーニング）カードを使っての学習を取り入れました。（エアロビクス・縄跳び・ランニング・ボール遊び・カレンダー作り・行事に合わせてのお面や飾り物の作成）

## 〔健康管理〕

心身ともに明るく健康に過ごして頂ける様に、食事・運動・清潔・疾患の早期発見・早期治療に取り組み、検診での指摘は直ぐに対応しました。

### （健康診断）

胸部レントゲン・心電図・視力・血圧・聴力・内科・歯科・眼科・耳鼻科の検診を年に 2 回実施しました。（就学児童は学校検診を含む）

### （身体測定）

体重・血圧測定を毎月行い、体重の増減や血圧の変化がないかを確認し、健康管理に役立てました。

## 〔献立委員会〕

4月に嗜好調査を行い好きな食べ物苦手な食べ物の調査をすると共に毎月希望メニューの調査も行い翌月の献立に反映しています。

毎月行われる誕生会では飲み物の希望を聞いて、一人一人の好みに応じた物を準備しました。今年度は8月にインド、ネパール料理、3月は色々な丼物をテーマとした、バイキングでの誕生会を行いました。「初めて食べた」「おいしい」等の声も聞かれ笑顔で食事を楽しまれていました。

## 〔苦情解決委員会〕

体制は第三者委員会と各寮リーダーです。苦情 要望件数は1件も発生しておりませんでした。

## 〔虐待防止委員会〕

虐待防止委員会を年に3回（4月、8月、12月）行いました。協議事項が別に発生した場合にはその都度会議を開く様にしていますが、今年度においては有りませんでした。

4月には利用者様に対しての虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるための「早期虐待発見チェックリスト」の記入を行い、4月に当法人施設長による勤続3年未満の支援員を対象とした「虐待防止研修会」、9月には顧問弁護士の荒巻氏より虐待に関する法人内研修を行って頂き学習すると共に、再確認をしています。

3月は職員を対象に無記名にて「虐待防止職員セルフチェックリスト」の記入を行い「緊急時には大きな声を出してしまった」「つい〇〇さんではなくあだ名で呼んでしまったことがある」「年上の方に対して〇〇ちゃんと呼んでしまったことがある」と数名の記入が有りました。内容の再確認を行い、意識を高めると共に今後は上記のような項目が無くなる様に会議にて話し合いを行っています。

## 〔安全衛生委員会〕

毎月開催、安全衛生管理年間計画の作成、実施、評価及び改善を行い精神的健康の保持増進対策、自然災害及び防犯の対応と対策、快適な生活環境、職場環境の形成を促進する為の会議を行いました。

環境美化整備コンクールを今年は5月27日に行いました。利用者様と支援員が共に生活の場を心地よく過ごせるように皆で掃除等を行い、活動場や生活棟の巡回を行い、良いところ悪いところ等の評価を行っています。

安全対策としては火災、地震、水害、防犯等を想定した避難訓練を実施しました。

8月26日に「津久井やまゆり園」で起きた事件を踏まえ防犯の意識を高める為に不審人物の侵入想定での訓練を行いました。また、飯塚警察署より来園して頂き、園内建物の配置確認を行いました。その中で緊急時は110番からの通報が、いち早く駆けつけられるというお話を頂き、外部侵入者を予防する為にも、関係者以外侵入禁止の看板を入口6ヶ所に設置、学園周囲にフェンスの取り付けを行い、防犯カメラを4台増設し、合計128台のカメラ設置としています。

## 〔平成28年度職員研修〕

### (全国大会関係)

- ◇ 全国知的障害福祉関係施設長会
- ◇ 全国知的障害福祉関係職員研修大会
- ◇ 障害者支援施設部会全国大会

### (九州大会関係)

- ◇ 九州社会福祉経営会総会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設職員研修大会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設長研修大会
- ◇ 九州地区障害者福祉協会児童発達支援部会

### (福岡県県内研修)

- ◇ 施設間交流会
- ◇ 障害者福祉協会第一回総会・研修会
- ◇ 社会福祉施設役職員研修会
- ◇ 社会福祉法人経営セミナー
- ◇ 福岡知的障がい者福祉協議会新任研修
- ◇ メンタルヘルス対策セミナー
- ◇ 平成28年度食中毒予防講習会
- ◇ 行動援護従事者養成研修
- ◇ 労務管理研修
- ◇ 地域公益活動連携協議会 記念講演
- ◇ 社会福祉法人改革対応セミナー
- ◇ キャリアパス対応生涯研修課程



- ◇ 筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 大規模災害対応セミナー
- ◇ 改正社会福祉法セミナー
- ◇ 要配慮者利用施設における土砂災害危険度情報配信システム導入説明
- ◇ サービス管理・児童発達支援管理責任者研修
- ◇ 平成 28 年度リスクマネジメント研修
- ◇ 触法障がい者研修会
- ◇ 社会福祉法人改革に伴う会計・財務セミナー
- ◇ 触法障がい者支援を考える
- ◇ 平成 28 年度第一回会員スキルアップ研修
- ◇ 平成 28 年度処遇記録研修
- ◇ 平成 28 年度管内栄養士（新任者）研修
- ◇ 社会福祉サービス事業所 直接処遇職員研修
- ◇ 社会福祉法人制度改革に関する勉強会
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会総会
- ◇ 社会福祉施設役職員障がい者施設事業所職員研修
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会福岡地区施設長会
- ◇ 福岡県児童発達支援管理者研修

（児童相談所関連）

- ◇ 田川児童相談所管内職員研修会
- ◇ 福岡児童相談所主催児童虐待防止研修会
- ◇ 田川児童相談所主催児童虐待防止研修会
- ◇ 田川児童相談所管内企画委員会議
- ◇ 筑豊京築地区児童福祉施設長会

（法人施設内研修）

- ◇ 新任職員・考課者研修（スキルアップ研修）
- ◇ 3 年未満勤続者を対象とした虐待防止に関する勉強会
- ◇ キャリアパス対応生涯研修（フォローアップ研修）
- ◇ 法人内階層別キャリアパス研修
- ◇ 児童虐待防止法制度について
- ◇ 園内職員虐待防止研修

〔地域との関わり〕

園内外に関わらず、出会った人には大きな声で挨拶をしています。敬老の日やクリスマスには地域の方々に心ばかりのプレゼントを子供達から手渡し、お互いに元気に過ごしている

事を確かめ合いました。

家族や地域の方との交流等の機会を確保する為に、花見遠足・学園祭・体育大会・餅つきの行事を行いました。

4月15日・16日に発生した熊本地震は障害者関係施設にも甚大な被害をもたらし、施設利用者様の支援に必要な物資が不足との事で、支援物資の提供を他の施設・企業等に要請したところ、たくさんの物資が集まり、4月18日・19日・20日・25日の4回、直接現地の拠点となっている施設に届けに行ってきました。